

史的考察を行い、食事内容の栄養学的分析を行い、その地域の健康が性別にどんな影響があるかを把握することを目的とした。

2, 3

- 1) 男飯・女飯の成立条件について先に発表した食慣行の規則条件（生産経営・食品の調達構成・経済構成・労働条件・家族関係）の角度から聴取調査によって検討を加えたが、その成立には特に経済力と家庭の人間関係の問題がある事を確認した。
- 2) こうした食事慣行の史的考察については古文書により又古老を訪ねて聴取りしたが、別鍋慣行・別飯等の形で或階級以上の家庭に広く行われていた事が判明した。
- 3) その食事内容の栄養学的分析を行い、一方性別健康調査を統計資料やその地域の栄養判定により、性別長寿率の差の原因及び男飯・女飯慣行の可否について検討を加える事が出来、新しい栄養学的な見地からみた性別の食事のあり方について把握する事が出来た。

28 農村の食慣行の生態調査（第3報）

—男飯・女飯慣行の栄養学的研究—

岩手大学芸 鷹嘴 テル

1 現在栄養学・食品学は非常に研究が進んでいるが、家政学的分野である食事行為の面はあまり追求されていない様に考えられる。本発表は家族関係と食物摂取慣行を中心とした研究の中から、男女別の食事差の問題を中心として述べることにする。農村に於いて男子と女子又はその家庭の戸主及び長男と一般家族の食事差のある地域が、現在尚残っているのだから、これらの成立条件と